

男女共同参画の視点

意識から行動へ

～ひと男女が響き合うまち成田をめざして～

男性も女性も人権が尊重され、その個性と能力が十分発揮できる社会の実現を目指して、平成23～27年度の計画期間で策定された「第2次成田市男女共同参画計画」から今回は、「基本目標2.仕事と家庭生活の調和の推進」を取り上げます。

就業は生活の経済的基盤形成や、次代を担う子どもたちを産み育てる家庭の形成のために重要です。

市の全就業人口のうち、女性が占める割合は約40%と女性の社会進出は著しく、業種によっては70%以上女性が占める場合もあります。

しかし、女性の年齢別労働力率をみると、就学期を終えた20歳代前半に高くなり結婚や出産期の20歳代後半～30歳代にかけて低下し、子育てが一段落する40歳代に再び上昇する傾向にあります。

女性が仕事を続けていくためには、就労条件や環境の整備とともに、周囲の人たちの理解と男性の育児・家事への協力が不可欠となります。

この計画では、女性の再就職などの情報提供や男性の育児休業の取得促進、保育サービスの充実などによる仕事・家庭・地域のバランスの取れたライフスタイルへの変換によ



り、家庭や地域での男女共同参画社会の形成を促進します。

※男女共同参画に関する意識調査報告書、第2次男女共同参画計画は、各公民館、企画政策課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/kikaku/index0003.html>)で見ることができます。くわしくは企画政策課(☎20-1500)へ。

消費生活相談

Q&A

海外宝くじのダイレクトメールにご注意を

Q 海外から、「〇〇政府公認」「1口3,000円で高額賞金が当たる」などと書かれたダイレクトメールが届きました。海外宝くじの購入費用をクレジットカードや定額小為替で支払い、手続きをするようにと書いてありますが、信用してよいでしょうか。

A 海外宝くじの購入に関するダイレクトメールが、中国やオーストラリア・香港・カナダなどからエアメールで、主に高齢者に向けて送られてきています。

いつか必ず当たると信じ、購入費用などを払い続け、気が付いたときには多額の費用をつぎ込んでしまっているという

ケースが見られます。

「現地で宝くじを購入する」と書いてあっても、本当に購入しているかどうかは確認できません。だまされていたとしても、ダイレクトメールには海外の住所以外に電話番号などの記載がないことが多く、返金を望んでも、交渉すること自体が非常に困難です。また海外宝くじを日本国内で購入することは刑法187条に抵触する恐れがあります。

このほかにも、「あなたには1,000万円を請求する権利が与えられた」など、賞金が当たったかのようなダイレクトメールもあります。この賞金を受け取るための手数料をクレジットカードなどで支払うというものですが、一度支払うと同様な手紙が大量に届くようになり、その都度払い続けていたら高額になってしまったというケースもあります。

「当選した」というダイレクトメールでは、申し込んでもいないのに賞金を受け取れることは考えられません。

海外から送られてくるこのようなダイレクトメールの甘い話には乗らないようにしましょう。

【被害に遭わないためのアドバイス】

- 海外宝くじは日本国内で買わない
- クレジットカード番号や個人情報を教えない
- 疑問や不安に思ったら、すぐに消費生活センターに相談する

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。